

三岸節子と 大磯

アトリエ開設60年記念企画展

2024 1.27(土) ≫ ≫ ≫ 2.25(日)

会場

大磯町郷土資料館
企画展示室

開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日

毎週月曜(2/12は開館)、
2/1、2/13

観覧料

大人 500円

中高生 200円

小学生以下無料

障がい者手帳の提示があった場合、
障がい者と介護者1名は無料

協力

高輪画廊

一宮市三岸節子記念美術館

後援

神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、
毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、
産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、
共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、
NHK 横浜放送局、tvk、FM湘南ナパサ、
湘南ケーブルネットワーク(株)

この展示の開催には、神奈川県川崎競馬組合の
競馬事業収益金を一部活用しています。

大磯町郷土資料館
Oiso Municipal Museum



アトリエ開設60年記念企画展

三岸節子と大磯

洋画家の三岸節子は、1964(昭和39)年に、大磯にアトリエを構えました。三岸は、「私は大磯に移り住んで太陽画家となった」と自著に記し、風景画への開眼について特筆しています。その後、一時、活動の場をフランスへ移しますが、帰国後、1990年代以降は大磯のアトリエを拠点として、画業を続けました。

本展では、三岸節子の業績とともに、彼女の人柄や大磯での暮らしぶりについて紹介します。

作品及び写真は全て高輪画廊所蔵 ©MIGISHI



花(1997年)



晨(1964年)



大磯風景(1965年頃)



大磯の庭(1970年代)



カーニユの赤い道(1970年頃)

講演会

三岸節子ご令孫の三岸太郎氏と
一宮市三岸節子記念美術館学芸員の
野田路子氏による、対談を行います。

講師 三岸 太郎 氏
野田 路子 氏(一宮市三岸節子記念美術館)
日時 令和6年2月4日(日) 午後1時30分～
会場 大磯町郷土資料館 研修室
定員 60名(申込不要)
定員を超えた場合、立ち見となります。



大磯のアトリエにて(1970年代)

大磯町郷土資料館

Oiso Municipal Museum



〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1
TEL 0463-61-4700
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>



電車 JR 東海道線大磯駅 徒歩約30分
バス 大磯駅～城山公園前 徒歩約5分
小田原厚木道路 大磯インター約5分 /
西湘バイパス 大磯西インター約2分

